

CITY OF YOKOHAMA

# 第5期瀬谷区地域福祉保健計画 暮らしやすいまちづくりの計画

瀬谷区福祉保健課



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 目次

- I 地域福祉保健計画とは
- II 瀬谷区地域福祉保健計画とは
- III 瀬谷区地域福祉保健計画の基本目標
- IV 6つの取組
- V 全体計画と地区別計画
- VI 計画の推進
- VII 第5期計画の特徴全体計画
- VIII おわりに

横浜市地域福祉  
保健計画キャラクター  
ちふくちゃん



なんだかとっても  
難しそうだよ！

大丈夫！  
一緒に見ていこう！



瀬谷区地域福祉  
保健計画キャラクター  
せやちゃん

# I 地域福祉保健計画とは（冊子P.1）

## 目的

地域に暮らす誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるように支え合うしくみをつくる

## 大切なこと

### ■住民主体

地域に暮らす一人ひとりが「私たちのまち」に関心を持つ

### ■協働

目標を共有し、区民・関係機関・行政等それぞれの役割に応じた取組を進めていく

## Ⅱ 瀬谷区地域福祉保健計画とは（冊子P.1）

### 計画の対象

瀬谷区で生活している「すべての人」

### 第5期計画の計画期間

令和8～12年度

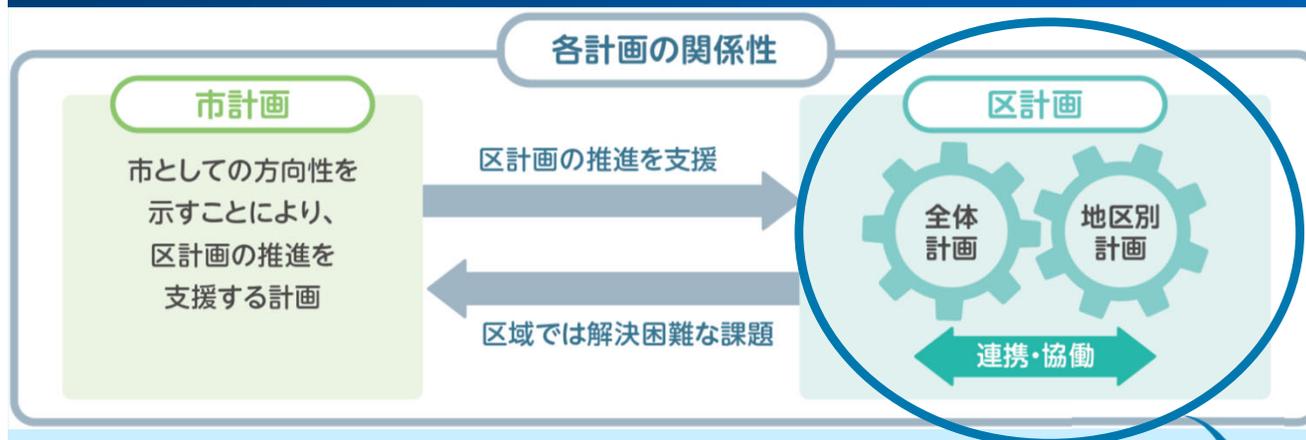


計画期間は5年間、  
第5期計画までに  
20年も計画が続  
いているんだ！



## II 瀬谷区地域福祉保健計画とは（冊子P.1）

### 計画の関係性



全体計画と地区別計画が歯車のようにかみ合うことで、区計画が進むんだね！

#### ■全体計画

区全体に共通する課題への取組や、地区別計画をよりスムーズに進めるための計画

#### ■地区別計画

地区の特性や資源を生かしながら、地区の課題解決や全体計画の推進にもつながる計画



## II 瀬谷区地域福祉保健計画とは（冊子P. 3）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### 第5期瀬谷区地域福祉保健計画の全体像

**基本理念** みんなでつくる みんなのしあわせ

**基本目標Ⅰ**

“おたがいさま”で  
支え合うまち

**基本目標Ⅱ**

健康\*でいきいきと  
暮らせるまち

**基本目標Ⅲ**

誰もが  
活躍できるまち

※健康とは…年齢や病気、障害の有無によるものではなく、心の充実や社会とのつながりを含めた幸福感や満足感のことを指します。

(基本目標を実現するための)6つの取組

1

身近な見守り・支え合い・  
助け合いのつながりづくり

2

一人ひとりに応じた  
健康づくり

3

健やかに子どもが育つ  
風土づくり

4

様々な人と人との  
交流の広がりづくり

5

それぞれの力を生かす  
ネットワークづくり

6

必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

6つの取組はこどもや  
障害者など地域住民や、  
関係機関・団体からのご意  
見を基に作成したよ



せや

## Ⅲ 瀬谷区地域福祉保健計画の基本目標（冊子P.5）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### 基本目標Ⅰ “おたがいさま”で支え合うまち

日々の生活の中でさりげなく気にかけてあえる「顔の見える関係」、支える側、支えられる側が固定されない、「ゆるやかな関係」、住民だけでなく、行政や関係機関・団体などが連携して瀬谷区全体で「支え合える関係」を大切にするまちを目指しましょう。

### 基本目標Ⅱ 健康でいきいきと暮らせるまち

地域交流などの「つながり」が心身の健康に効果があると言われています。一人ひとりが「つながり」をつくることで個人の健康が保たれるとともに、健康で暮らしやすい地域になります。誰もが自分らしくいきいきと過ごせるまちを目指しましょう。

### 基本目標Ⅲ 誰もが活躍できるまち

様々な形で身近な地域で年齢や国籍、障害の有無等に関わらず誰もが好きなことやできることを生かして活躍できるまちを目指しましょう。また、担い手不足や多様化する課題に向き合うために、デジタル技術の活用等、時代に即した活動に変化していくことも大切です。

## IV 6つの取組（冊子P.6～18）



### 取組1 身近な見守り・支え合い・助け合いのつながりづくり

日頃から挨拶や声かけをすることで、助け合いや困ったときの支え合いの関係ができ、「安心・安全で暮らしやすいまち」になります。たとえ、ゆるく小さなつながりや取組でも、地域でのつながりは日常的な安心を生みます。また、災害時の安心にもつながります。

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

自分の住んでいるまちで、“顔の見える関係”をつくりましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

「顔の見える関係づくり」を進め、  
ゆるやかなつながりづくりを広めていきましょう。

まずは挨拶することからだね！



## IV 6つの取組 (冊子P.6~18)



### 取組2 一人ひとりに応じた健康づくり

自分の心身の健康に関心を持ち、健診等を受け、自分の状態等に応じた健康づくりをしていくことが大切です。健康への意識を高めることが、身近なところで行う心と体の健康づくりや介護予防に関する取組につながります。

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

自分の心身の状態を把握しましょう。  
また、自分では把握しにくい人のことを気にかけてみましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

健康に関心が持てる活動を推進していきましょう。  
更に、健康づくりや疾病等に対する予防的な取組を増やしていきましょう。

今日は良い調子！  
体調に合わせて進めよう



## IV 6つの取組 (冊子P.6~18)



### 取組3 健やかにこどもが育つ風土づくり

子育て環境や子育て世代の考えの変化を理解しながら、保護者や地域に見守られ、こどもらしく遊び、学び、成長していけるまちにすることが大切です。こども自身も、地域のイベントに参加するだけでなく地域の中で主体的に関わることで、達成感や自己肯定感を高めることができます。大人も、こどもの気持ちを大切にしながら働きかけることが、地域でこどもが育つ風土(まちに根付いた考え方や意識)づくりになります。また、こどもの将来や安全について瀬谷区全体で一丸となって考えていく必要があります。

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

- こどもたちが、様々な体験をできるようにしましょう。
- こどもたちは、地域で自分のできることについて考えましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

こどもにとって楽しい機会を作り、  
こどもたちも活躍できるよう意識して活動していきましょう。

色んなこと体験したいな！



## IV 6つの取組 (冊子P.6~18)

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA



### 取組4 様々な人と人との交流の広がりづくり

誰もが自分らしく暮らしていくために、関わりを広げながら、お互いに知り・認め合うことが大切です。こどもや障害者、高齢者、外国にルーツのある方との交流など、世代や文化を超えたより広い交流の場を作りましょう。

また、誰もが好きなことやできることを生かして活躍できるまちを目指します。

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

住んでいるまちのイベント等に参加しましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

気軽に集まれる場所を提供しましょう。

せやちゃん以外にも18区  
それぞれにキャラクターがいるよ！



## IV 6つの取組 (冊子P.6~18)



### 取組5 それぞれの力を生かすネットワークづくり

行政だけでなく、住民や企業・関係機関(団体)の連携・協働が欠かせない状況となっています。これまでの計画を通して、それぞれのつながりが増えました。地域のニーズや課題が複雑化した中で、互いを理解し強みを生かしながらネットワークを強化していくことが、地域で安心して暮らすことにつながります。

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

住んでいるまちのイベント等に継続的に参加し、  
つながりを増やしましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

地域住民のニーズを共有し、ネットワークや取組につなげましょう。  
また、関係機関・団体・施設同士および地域とのつながりを強めていきましょう。

何回も参加することで色々な人と  
仲良くなれるね



## IV 6つの取組 (冊子P.6~18)



### 取組6 必要な情報や支援が届く仕組みづくり

必要な人に必要な情報が届き、そこから相談につながることや、困りごとを抱えている人が声を上げられ、必要な支援が届くようにしていくことが大切です。

ICT\*の活用等により、情報の発信も多様化し、より多くの情報が届くようになりましたが、発信する側も正しい情報を届け、受け取る側も正しい情報を選択する必要があります。

サロンや趣味の活動など身近な集まりの中で、情報を共有・交換することも大切な仕組みの一つです。

※ICTとは：コンピューターやインターネット、スマートフォンなどを使って情報をやり取りしたり、仕事や生活を便利にしたりする技術のことです。

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

困った時に、相談できる人・相談できる場所を、  
住んでいるまちに持ちましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

伝えたい相手の立場に立った情報発信や  
支援方法を工夫していきましょう。

やさしい日本語  
だと多くの人に  
伝わるね



## V 全体計画（冊子P. 6～18）と地区別計画（冊子P. 19～44）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### 全体計画

全体計画は、区民、関係機関・活動団体・各種施設等、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの5者が取り組む計画です。

基本目標の実現に向けて区に共通する課題をそれぞれの得意なこと・できることを計画として掲載しています。



みんなが関わっているんだね、  
6つの取組ごとに一人ひとりが意識し  
たいことが書いてあるよ！

まずは取組4の「住んでいるまちのイベント等に参  
加しましょう」から初めてみようかな！

## V 全体計画（冊子P. 6～18）と地区別計画（冊子P. 19～44）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### 地区別計画

地区のみなさんが、その地区の課題について検討し、地区の特性や資源を生かしながら課題解決のために12地区エリアごとに策定・推進する行動計画です。



12地区それぞれに  
素晴らしい計画があるよ、  
ぜひホームページや冊子  
で見てほしいな♪



## VI 計画の推進（冊子P.45～46）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### 推進の方法

計画をより効果的に進めていくために、様々な方法を用いていきます。

- ・年度ごとのPDCAの実施
- ・懇談会・シンポジウムの開催
- ・研修会の実施
- ・地区社協分科会での振り返り
- ・区民意識調査やこどもへのアンケートの実施



出来上がった計画を進めて、基本目標を実現してることが大切だね



【懇談会の開催】



【シンポジウムの開催】

## VII 第5期計画の特徴（冊子P. 6）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### 特徴① 全体計画の範囲拡大

これまで「区役所、区社協、地域ケアプラザ」だったのを「区民」、「関係機関・活動団体・各種施設等」を加えることで、計画の基本理念である「みんなで作る みんなのしあわせ」をより体現する計画としました。

関係機関・活動団体・各種施設等には色々なところがあるね。  
みんな、瀬谷区のことを考えて、暮らしやすいまちになるように取り組んでいるよ。



全体計画は、**区民**、**関係機関・活動団体・各種施設等**<sup>\*</sup>、**区役所**、**区社会福祉協議会**、**地域ケアプラザ** の5者が中心となって取り組む計画です。次のページからは、6つの取組に分けて全体計画を掲載しています。

<sup>\*</sup>関係機関・活動団体・各種施設等とは：地区社会福祉協議会、連合町内会、民生委員・主任児童委員、ボランティア団体、保健活動推進員、企業、医療機関、子育て支援団体、障害者当事者団体、外国人支援団体、社会福祉施設等のことを指します。

## VII 第5期計画の特徴全体計画（冊子P. 7～18）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### 特徴② 5つの“大切なこと”から6つの“取組”

基本目標に対してどのようにアプローチしていくかをアンケート（こども、障害者、高齢者等）や策定懇談会等が出た意見をもとに基本目標を実現するため6つの取組を作成しました。

また名称を「（基本目標を実現するための）6つの取組」とすることで、実現するためにどうしていけばよいかをよりわかりやすく表現しました。

アンケートや区民意見募集については  
次のページを見てね。



## VII 第5期計画の特徴全体計画（冊子P.49～55）

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

### 特徴③ こどもからの意見抽出

横浜市こども・子育て基本条例に基づき、こどもの意見を表明する機会を確保し、

■事前アンケート(212件)

■素案に対する意見募集(326件)

そのほか、外国籍の方や障害者の方など、幅広く意見募集を行い、素案に対する意見募集ではこども含めて**全部で384件**のご意見をいただきました。



色々な意見をくれてありがとう！  
参考にしたみんなの意見は計画の  
49～55ページに載っているよ

「ユニバーサルデザインを増やして、こどもから高齢者まで楽しめる施設(居場所)があるとよい」という大人顔負けの意見もあったよ！

## VII 第5期計画の特徴全体計画（冊子P. 7～18）

### 特徴④ ピクトグラムの活用

全体計画は6つの取組ごとに掲載していますが、決して一つの取組だけに関係しているわけではありません。

そこでピクトグラムを活用して取組の関係性をわかりやすく表しました。

計画は一つの取組  
だけに関係してい  
るわけではなく、  
色々な取組につな  
がっているんだね



6つの取組のピクトグラム



## VIII おわりに

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

### まとめ

計画の策定にあたっては様々な方とともに作成をしていただきました。引き続き、基本理念である「みんなでつくる みんなのしあわせ」を実現していくためにも令和8年度から開始するこの計画を自分事として捉え、自分の暮らす瀬谷区をより良くするために瀬谷区一丸となって推進していきましょう。



大切なのは  
「暮らしやすいまちをつくる」  
ことだよ！

計画を見ながら自分でできること  
から取り組んでみよう！

